

旧益習館庭園
国名勝指定記念シンポジウム

洲本城下町と 旧益習館庭園

6/29 30 日

参加無料
(事前申込が必要です)

■シンポジウム

日 時 / 令和元年6月29日(土)

13:00~16:00 (受付12:30~)

・基調講演「旧益習館庭園の特徴と活用について」

講師：西 桂 (日本庭園研究家)

・パネルディスカッション

コーディネーター：福井 亘 (京都府立大学大学院准教授)

パネリスト：西 桂 (日本庭園研究家)

武田 信一 (洲本市文化財審議委員)

武田 義明 (神戸大学名誉教授)

浦上 雅史 (日本考古学協会員)

金田 匡史 (洲本市教育委員会)

場 所 / 洲本市文化体育館 しばえもん座

兵庫県洲本市塩屋1丁目1-17

定 員 / 350名 (申込先着順)

参加方法 / 事前に電話で申込み下さい

参加特典 / 記念エコバッグプレゼント

■エクサカーション (書院から庭園を観賞)

日 時 / 令和元年6月30日(日)

書院見学 10:00~12:00

シンポジウムパネリストによる庭園解説

①11:00~ ②12:00~

場 所 / 旧益習館庭園 (兵庫県洲本市山手3丁目)

参加方法 / 入場券をお持ちの方

※入場券はシンポジウム来場者に配布します

問合先 洲本市教育委員会 生涯学習課

TEL. 0799-24-7632 ※平日のみ

申込先 洲本市立淡路文化史料館

TEL. 0799-24-3331 ※月曜休館



旧益習館庭園 国名勝指定記念 「益習館展」

令和元年 6月22日[土] - 9月16日[月・祝]

入館料 / 大人400円、大学・高校生250円、小・中学生100円

開館時間 / 9時~17時 (入館は16時30分まで)

休館日 / 月曜日、祝日の翌日、月曜日が振替休日のときは火・水が休館

淡路島の歴史と文化を一覧に集めた博物館 淡路文化史料館 〒656-0024 兵庫県洲本市山手1-1-27 TEL.0799-24-3331 FAX.0799-24-3341

特集展示

主催 / 洲本市・洲本市教育委員会 後援 / 兵庫県教育委員会

協力 / (公社)日本造園学会 関西支部・兵庫県名勝部門ヘリテージネージャー連絡会・ひょうごの名園を考える会

シンポジウム

洲本城下町と旧益習館庭園

6月29日(土)

◆基調講演 (13:10~14:10)

西 桂 (日本庭園研究家)

「旧益習館庭園の特徴と活用について」

◆パネルディスカッション (14:20~15:50)

「洲本城下町と旧益習館庭園」

コーディネーター

福井 亘 (京都府立大学大学院准教授)

パネリスト

西 桂 (日本庭園研究家)

武田 信一 (洲本市文化財審議委員)

武田 義明 (神戸大学名誉教授)

浦上 雅史 (日本考古学協会員)

金田 匡史 (洲本市教育委員会)



来場者に
記念エコバッグ
プレゼント

国名勝 旧益習館庭園(きゅうえきしゅうかんていえん)

徳島藩の筆頭家老稲田氏の別荘(西荘)の庭として作庭されました。嘉永8(1854)年、稲田氏の私塾学問所を西荘に移し、益習館と呼ばれるようになりました。明治3(1870)年の庚午事変により、建物は焼失しましたが、庭だけが当時の面影を残しています。

曲田山山麓に作庭された庭園は、東西に長い池泉を穿ち、山側護岸に和泉砂岩の巨石を用いた池泉回遊式庭園です。高さ4mを越える山側護岸の巨石は、庭石としては日本最大級のもので、巨石を中心として造営した作庭技術や意匠は、全国的に見ても特異な特徴を有する優れた庭園です。

平成31年2月26日、国名勝に指定されました。

エクスカーション

書院から見た旧益習館庭園

初めての書院一般開放(1日限定)

6月30日(日)

◆旧益習館庭園書院見学 (10:00~12:00)

入場券をお持ちの方のみ入館可能

※入館券は、29日のシンポジウムで配布させていただきます。

※混雑時には、入場をお待ちいただく場合があります。

◆旧益習館庭園現地解説 (10:00~、11:00~)

シンポジウムパネリストによる現地解説

◆アクセス

お車でお越しの際には、近くの市営駐車場等をご利用ください。

【シンポジウム申込み先】

淡路文化史料館 ☎0799-24-3331

※月曜日は休館日です。ご注意ください。

